

図書館と ランドスケープ

未来の図書館 研究所
第4回
シンポジウム

「那須塩原市駅前図書館（仮称）完成イメージパース」©UAo 株式会社

読書や調査にいそしむとともに、人びとが出会い、ときを過ごすのにふさわしい図書館空間を求め、私たちは、物理的環境が与える意味、影響をもっと真剣に考えるようになっていきます。また、デジタル化の進展により、情報はこれまでの資料とは違った形をとります。そこで今回は、さまざまなしつらえや資料の提示手法などを含む、図書館のランドスケープ（景観）を考えてみたいと思います。



講演者・パネリスト

伊藤 麻理(いとう・まり)氏

UAo 株式会社代表取締役
東洋大学建築学科非常勤講師

1974年栃木県出身。東洋大学大学院工学科建築学専攻修士課程修了。スタジオ建築計画に勤務後、2001年オランダに渡り、ATELIER KEMPE THILL ARCHITECTS AND PLANNERSにて設計士として活躍。帰国後の2006年、アトリエインクとして設立後、一級建築士事務所 URBAN ARCHITECTURE OFFICE 合同会社を経て、2013年にUAO株式会社へ改称。代表作に、サイエンスヒルズこまつ（石川建築賞優秀賞、いしかわ景観賞、第56回BCS賞ほか受賞）、那須塩原市駅前図書館（仮称）2020年1月完成予定。



講演者・パネリスト

森山 光良(もりやま・みつよし)氏

日本図書館協会認定司書 1029号

1960年岡山県出身。岡山大学大学院文化科学研究科博士課程単位取得退学。国立国会図書館総務部情報処理課参事、岡山県公立学校教諭、岡山県総合文化センター司書、岡山県生涯学習センター指導主事、岡山県立図書館メディア・協力課長、資料情報課長等を経て、2019年3月退職。2002年より、国立国会図書館『カレントアウェアネス』編集企画員を12年間務める。共著に『図書館概論』（樹村房）など。



コーディネーター

永田 治樹(ながた・はるき)

株式会社 未来の図書館 研究所 所長

名古屋大学附属図書館を振り出しに、国文学研究資料館、東京大学・金沢大学・北海道大学の図書館などに勤務後、1994年から筑波大学図書館情報メディア研究科、立教大学文学部等で教育・研究に携わる。専門領域は図書館経営。ISO TC46 / SC8の国内委員。近著に、永田治樹編著『図書館制度・経営論』日本図書館協会、2016。

日時 2019年 11月 11日(月) 13:30~16:30

場所 日比谷図書文化館内(地下1階) 日比谷コンベンション大ホール

受付 事前申込み制(定員になりしだい締切らせていただきます) 定員 200名 参加費 無料

お申込方法 下記アドレス宛のメールまたは未来の図書館研究所 Web サイトの申込フォームよりお申込みください

お問合せ 株式会社 未来の図書館 研究所 info@miraitosyokan.jp Web サイト http://www.miraitosyokan.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-12 7階
TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395

主催:  未来の図書館 研究所
The libraries of the future research, inc.



シンポジウム終了後、17:00~19:00に交流会(定員80名、参加費3,000円)を予定しています。交流会参加希望者は11月4日(月)までにシンポジウム参加申込みと合わせてお申込みください。